

## バランスシートと行政コスト計算書

# 町の資産と負債はいくら？

一般的に市町村の会計は、単年度の現金の出入りだけを表しているものです。しかも、単年度の現金の流れだけでは、今までの行政活動の積み重ねによりどれだけの資産を保有し、どれだけの負債を抱えているかといった情報がわかりづらく、財政状況を把握できないということがい

われています。

そこで、町では、国（総務省）が示した作成マニュアルに基づいて、民間企業が行っている会計手法を取り入れ、普通会計を対象に幸田町のバランスシート（貸借対照表）や行政コスト（損益）計算書を作成しました。

### 「表1」バランスシートを見てみましょう

まず、資産を見ますと平成15年度末現在、町の資産総額は約515億円となっています。その内訳として、有形固定資産が約464億円で90・1%を占めています。平成15年度末現在の人口33,992人で除した町民一人当たりの資産額は、151万6,242円となります。

この中で、資産の大部分を占める有形固定資産（土地や建物など）の内訳を見ると、社会資本整備に関する土木費と学校や町民会館など教育施設に関する教育費で77・7%を占めていることがわかります。ほかの費目の特徴として、衛生費が約3億円の資産で、前年度に比べ約1億円増加しています。これは一般廃棄物最終処分場整備に係る資産の増加がその要因となっています。

次に、負債を見てみると、今までに施設等を建設した時に借りた資金の残額と職員の退職給与引当金等が計上されており、平成15年度末現在での本町の負債総額は約151億

円、町民一人当たりになると44万4,734円となっています。借金の返済については、長期にわたり返済する地方債（平成17年度以降の残金）が約105億円で、翌年度（平成16年度）に返済すべき地方債の償還金が約21億円となっています。

最後に、正味資産については、バランスシートの借方に計上されている資産のうち、これまでの世代が既に負担し、後世代が実質的に受け継ぐ正味価値であり、この資産が多いほど次の世代への負担が小さいといえます。本町の正味資産総額は約364億円で、有形固定資産のうち78・5%が国や県からの補助金や税金を資金として形成されてきたことがわかります。

### 「表2」行政コスト計算書（損益計算書）を見てみましょう

行政コスト計算書は、町の住民の皆さんに対する、人的サービスや給付サービスなどの行政サービスをを行ったコストを表し、目的別に4つに分類したものです。

平成15年度決算では、町民一人当たりのコストは29万501円となりました。表を見ると、移転支出的なコストが最も大きく36%を占めています。この移転支出的なコストは、高齢者や子ども、障害者への手当などの扶助費や町から他団体への補助金、負担金といったものが主な内容となっています。

### 平成15年度決算に基づく行政評価を実施しました

行政評価とは、事務事業の目的と手段を明確にして、成果指標を数的に表し、町民の視点に立って改善を繰り返すシステムのことをいいます。このシステムは、妥当性、有効性、達成度、効率性の4つの項目で評価し、総合評価としてA～Dの4段階に区分しました。

昨年度の行政評価については、各係1事業を選定し63の事業を対象に行いましたが、今年度は行革推進本部において選定された68事業を対象に行い、「表3」の結果となりました。評価の方法としては、1次評価として事業実施した所管部が自ら評価をし、次に2次評価として行政改革推進本部（部長で構成）評価、及び外部評価（行財政事務改善委員会）にて評価をしています。

この制度への取り組みによって得られた、町民の皆様からの数々のご意見を参考にしながら、一層の事務事業の改善に努めていきます。



問合せ 監査委員事務局

（内線341）

町の資産と負債はいくら？

【表1】普通会計バランスシート

( )内数値は、前年度金額

借方		貸方	
[資産の部]		[負債の部]	
1.有形固定資産	464億1,339万1千円(463億308万1千円)	1.固定負債	130億6,121万9千円(143億9,592万2千円)
(1)総務費	25億2,235万5千円(25億5,776万8千円)	(1)地方債	105億3,078万7千円(119億3,767万5千円)
(2)民生費	37億9,830万3千円(35億8,562万2千円)	(2)債務負担行為	0円(0円)
(3)衛生費	3億2,024万円(1億8,362万9千円)	(3)退職給与引当金	25億3,043万2千円(24億5,824万7千円)
(4)労働費	8億738万8千円(9,578万4千円)	2.流動負債	20億5,618万9千円(12億151万3千円)
(5)農林水産業費	18億7,567万6千円(18億8,663万8千円)	(1)翌年度償還予定額	20億5,618万9千円(12億151万3千円)
(6)商工費	4億3,707万8千円(4億4,466万5千円)	(2)翌年度繰上充用金	0円(0円)
(7)土木費	166億2,328万9千円(168億2,533万2千円)	負債合計	151億1,740万8千円(155億9,743万5千円)
(8)消防費	12億9,163万3千円(12億8,556万円)	[正味資産の部]	
(9)教育費	194億5,210万3千円(194億3,232万8千円)	1.正味資産	364億2,267万7千円(355億6,561万円)
(10)その他	532万6千円(575万5千円)	(1)国庫支出金	30億4,347万円(29億6,150万1千円)
2.投資等	32億4,470万8千円(32億3,086万2千円)	(2)都道府県支出金	26億5,066万2千円(27億2,223万3千円)
(1)投資及び出資金	1,558万3千円(1,558万3千円)	(3)一般財源等	307億2,854万5千円(298億8,187万6千円)
(2)貸付金	9,050万円(9,050万円)	正味資産合計	364億2,267万7千円(355億6,561万円)
(3)基金	22億1,433万9千円(22億5,231万円)	負債・正味資産合計	515億4,008万5千円(511億6,304万5千円)
(4)退職手当組合積立金	9億2,428万6千円(8億7,246万9千円)	債務負担行為に関する情報	
3.流動資産	18億8,198万6千円(16億2,910万2千円)	物件の購入等に係るもの	6,100万円(3億4,993万6千円)
(1)現金・預金	17億2,180万2千円(14億7,314万6千円)	債務保証又は損失補償に係るもの	0円(0円)
(2)未収金	1億6,018万4千円(1億5,595万6千円)	利子補給等に係るもの	1億5,917万2千円(2億3,283万7千円)
資産合計	515億4,008万5千円(511億6,304万5千円)		

【表2】行政コスト計算書(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

( )内数値は、町民一人当たりの金額

行政コスト		収入項目	
行政コスト合計	98億7,472万4千円(29万501円)	収入合計	103億5,989万4千円(30万4,774円)
人にかかるコスト	27億4,417万8千円(8万730円)	1 使用料・手数料等	6億4,627万7千円(1万9,013円)
(1)人件費	25億5,960万5千円(7万5,300円)	2 国庫(県)支出金	7億9,983万4千円(2万3,530円)
(2)退職給与引当金繰入等	1億8,457万3千円(5,430円)	3 一般財源	89億1,378万3千円(26万2,232円)
物にかかるコスト	32億1,384万2千円(9万4,547円)		
(1)物件費	14億5,978万2千円(4万2,945円)	正味資産国庫(県)支出金償却額	3億6,149万9千円(1万635円)
(2)維持補修費	2億3,763万7千円(6,991円)		
(3)減価償却費	15億1,642万3千円(4万4,611円)		
移転支出的なコスト	35億5,176万7千円(10万4,488円)		
(1)扶助費	6億2,780万6千円(1万8,469円)		
(2)補助費等	12億3,750万1千円(3万6,406円)		
(3)繰出金	12億4,562万4千円(3万6,645円)		
(4)普通建設事業費(他団体等への補助金等)	44億83万6千円(1万2,969円)		
その他にかかるコスト	3億6,493万7千円(1万736円)		
(1)災害復旧事業費	27万8千円(8円)		
(2)公債費(利子分のみ)	3億5,156万5千円(1万343円)		
(3)不納欠損額	1,309万4千円(385円)		
一般財源等増減額(正味資産)	8億4,666万9千円(2万4,908円)		
合計	107億2,139万3千円(31万5,409円)	合計	107億2,139万3千円(31万5,409円)

【表3】行政評価結果表

総合評価	内容	1次評価	2次評価
A	積極的・計画どおり事業を進めることが適当	50事業	38事業
B	事業の進め方に改善が必要	13事業	21事業
C	事業規模・内容の見直しが必要	3事業	4事業
D	事業の抜本的見直し・廃止が必要	2事業	5事業

1次評価：所管部評価 2次評価：行政改革推進本部評価及び行財政事務改善委員会評価

D評価となった事業：事務服貸与事業、西三河二市五町交通災害共済組合事業、貯蓄生活設計映画会開催事業、キャンプ用品貸出事業、ふれあい歩け歩け運動事業